

通し番号	4364
------	------

分類番号	20-25-14-02
------	-------------

(成果情報名) ホスチアゼート粒剤 (ネマトリンエース粒剤) のトウガン・ネコブセンチュウに対する農薬登録の取得 (使用時期変更)
[要約] トウガンにおいてネコブセンチュウの防除にはホスチアゼート粒剤の使用が有効であるが、これまでの使用時期収穫90日前では実用性が乏しいため、使用時期変更のための作物残留試験を行い、登録の使用時期が収穫45日前に変更された。
(実施機関・部名) 神奈川県農業技術センター・農業環境研究部 連絡先0463-58-0333

#### [背景・ねらい]

トウガンにおける難防除害虫であるネコブセンチュウの防除にはホスチアゼート粒剤の使用が有効である。しかし、近年では本県のトウガン栽培の期間は短縮される傾向にあり、農薬登録の使用時期「定植前但し収穫90日前まで」では実用性がほとんどない。そこで、ホスチアゼート粒剤の使用時期を変更（収穫前使用日数の短縮：収穫前90日から45日程度へ）するため、当該農薬施用後の作物体における農薬の残留調査を行う。

#### [成果の内容・特徴]

- 1 ホスチアゼート粒剤20kg/10aを定植前に施用して、施用後35、45および60日の試料において作物残留量を調査したところ、平塚市、三浦市の試験区とも、ホスチアゼートの残留濃度は定量限界(0.02ppm)以下であり(表1)、ホスチアゼートの第二果菜類への登録保留基準値は0.2ppmであることから、登録の際のデータとして活用できる。
- 2 上記結果を基にホスチアゼート粒剤はトウガンのネコブセンチュウに平成20年9月24日に使用時期変更が登録された。

#### [成果の活用面・留意点]

- 1 今回の登録により、トウガンのネコブセンチュウに対しホスチアゼート粒剤が定植前収穫45日前に使用できる。
- 2 トウガン・ネコブセンチュウに対するホスチアゼート粒剤の登録内容は、使用量「10aあたり20kg」、使用法「全面土壌混和」、使用時期「定植前但し、収穫45日前まで」、使用回数「1回」である。

(2009年8月現在)

- 3 ラベルに記載された安全使用基準を守り、正しく使用する。

[具体的データ]

表1 トウガンに対するホスチアゼート粒剤施用後の農薬残留分析結果

試料(産地、品 種)	薬剤散布 月日	試料採取月 日	供試農薬の 濃度及び量	施用回 数	経過日 数	分析値(ppm)
						実測値
農技セ (平塚市)	—	8/23	無散布	—	—	<0.02
	7/9	8/23		1	45	<0.02
		8/30	20kg/10a	1	52	<0.02
		9/6	1回	1	59	<0.02
三浦半島 地区事務所 (三浦市)	—	6/29	無散布	—	—	<0.02
	5/16	6/29		1	44	<0.02
		7/6	20kg/10a	1	51	<0.02
		7/13	1回	1	58	<0.02

[資料名] 平成19年度試験研究成績書(農業環境研究部)

[研究課題名] かながわ特産品等マイナー作物に対する農薬登録促進

[研究期間] 平成19年度

[研究担当者] 井上裕理・川嶋陽子・折原紀子